

青果育種研究会

山形市で初の見本市

約300人が参加した見本市



「T.M.O.75」トマトなどをPRするタキイ種苗



ネギ「関羽」を売り込むトーホク



キャベツ「ボールランナー」のPRに力を入れる大和農園



「さしみサラダ茄子」を売り込む渡辺採種場



鮮度保持フィルム「ポップラス」の説明をする住友ベークライト

青果育種研究会は9月9日、第147回品種見本市を、初めて山形市で開いた。会場となった山形市公設地方卸売市場・山形丸果中央青果内は大にぎわい。約300人が参加。出展11社の「平成27年度へ向けた取り組みについて」の説明と、来年度売り込もうとする野菜品種のPRに熱心に耳傾向」と題して講演。

「ホテルなどで使う野菜は、量が確保されると同時に、品揃えが欠かせない。一方、直売所向けなどの野菜は地域の人々の日常生活に役立つことが第一」と話した。野菜生産と消費の拡大を図るにはこのように、二分化する消費動向の双方への対応が必要と指摘した。

「ホテルなどで使う野菜は、量が確保されると同時に、品揃えが欠かせない。一方、直売所向けなどの野菜は地域の人々の日常生活に役立つことが第一」と話した。野菜生産と消費の拡大を図るにはこのように、二分化する消費動向の双方への対応が必要と指摘した。

野菜の機能性をPR 出展した種苗会社は、野菜のおいしさと同時に機能性について、来場者に説明。特に消費者に人気の高いトマトの持つ栄養素・リコピンなどの健康維持効果などについて種苗売り出し前の品種も含め、解説した。

普及品種目立つ カボチャ、ナス、ネギ、キュウリ、エダマメ、インゲン、ダイコン、カラヒマン、スイートコーン、ニンジン、オクラ、

品目別出展品種は、次の通り。▽カボチャ「栗五郎」「カネコ種」金味(大和農園)「ダークホース」(渡辺採種場)「ナス」(さしみサラダ茄子)(渡辺採種場)「ホワイトシヨコ」(みかど協和)「マニラ」(アロマレッド)「アロマレッド」(トーホク)「マキウ」(トーホク)「オクラ」(ジョニー)「カネコ種」

食用ホオズキ、キャベツ、エタマメ「雪音」などを売り込む雪印種苗 レタス「ハンサムグリーン」などのPRをする横浜植木

見本市は、出展各社のフリーダーたちにとって交流の場。それぞれの育種研究の可能性などについて、活発に意見を交換し合った。その中で大学などとの共同研究を通して、企業の枠を超えての研究の可能性を探る意見も出された。

農家所得の向上がカギ 関心を呼んだ機能性野菜



トマト「プレミアムルビー」などをPRするカネコ種苗



トマト「りんか409」のPRに力を入れるサカタのタネ



イタリア野菜の説明をするトキタ種苗



ネギ「夏の宝山」などを売り込む、みかど協和



エタマメ「雪音」などを売り込む雪印種苗



レタス「ハンサムグリーン」などのPRをする横浜植木

▽食用ホオズキ「キャンドールランタン」(大和農園)▽キャベツ「ボールランナー」(大和農園)▽R晴信(雪印種苗)▽レタス「ハンサムグリーン」(横浜植木)「ロマリ」(タキイ種苗)「ミニ」(紅法師)「タキイ種苗」▽ハクサイ「娃娃」(トキタ種苗)▽イタリア野菜「フィノッキオ」(バツリコ・ナール) (トキタ種苗)▽ステイックカリフラワー「カリフロレ」(トキタ種苗)▽メロン「雅夏系」(横浜植木)▽鮮度保持フィルム「ポップラス」(住友ベークライト)

また野菜の消費拡大に向けて、鮮度保持を徹底して、国内はもとろへ輸出の可能性を探る意見もあつた。青果育種研究会の宮本修会長は「生産農家、農業法人などの所得増加を図ること。それが流通業界を含む関連業界全体の発展につながる」とした。